

現場マネジメント実践研修リキュラム

<p><実施日> 6月12日(火)～13日(水) 9:00～17:00 (8:45～オリエンテーション予定)</p>		
<p>担当講師 : 中村 秀樹 (株)日本コンサルタントグループ 建設産業研究所</p>		
<p><研修の目的> 現場のリーダーとして、工事運営を円滑にかつ利益確保に向けた舵取りをする実践力を身につけることを狙いに、対人能力や折衝力を高めていきます。 演習、討議、発表を通して自分の考えを説明し、現場のマネジメントの本質に気づき、能力を身に付けていきます。</p>		
1日目	プログラム	備考
8:45	<p>■研修オリエンテーション</p> <p>0. 現場マネジメントとは ～現場マネジメントは以下の1から5の実践～</p> <ul style="list-style-type: none"> ▣ 5つの現場代理人タイプの分析から現場マネジメントの要素を見つけ出す自己チェック 	<p>講義 ケーススタディ と分析</p>
10:00	<p>1. 工事管理をするための専門知識</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 建設業法における現場代理人の役割責任 2) 現場組織の施工、安全、原価の管理知識 ・統括元請管理 ・下請施工指導 ・見積交渉など 	<p>1. ～ 5. の項目は グループディスカス演習 と解説の繰返し (☆ 1項目につき100分)</p>
12:00	<p>2. 現場をまとめる力</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 組織のつくり方 2) 統率力と目標に向かわせる力 	
13:00	<p>3. 人の使い方と動かし方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) コミュニケーション力 ・説明する ・確認する ・注意する ・指導する 2) 信頼される自分の磨き方 	
14:00	<p>4. 工事進行の先読みと手の打ち方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 現場状況の把握と分析 2) 工事を円滑に進める管理力 	
15:00	<p>5. トラブル、提案の有利な折衝力</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) トラブル処理の方法 2) 利益確保への有利な提案 <p>▣ 1日目のまとめと2日目への宿題説明 ☆ 1～5の現場マネジメント実践項目について自分の分析を翌日までにまとめてくる。</p>	
17:00		

2日目	プログラム	備考
8 : 4 5	6. 現場マネジメントのグループディスカス 1) グループごとに自分の現場マネジメント力の分析発表 2) グループごとに分析結果のまとめ 3) 模造紙に発表内容を作成	グループ ディスカス 発表
1 0 : 0 0	7. ディベート方式による現場マネジメント力の磨き方を追求 ～～発表、追求質問、弁護、審査コメントに分かれて夫々の立場で意見を出し合う。そこから現場マネジメントを実践の中から磨いていく具体的な方法を見つけ出していく～	ディベート
1 2 : 0 0		
1 3 : 0 0	8. グループごとに現場マネジメントの実践場面演習 1) 現場マネジメント実践場面を想定 2) その場面のシナリオ作成 ▣ マネジメント要素を意識した実践のシナリオを作成する	グループ ワーク
1 5 : 0 0	3) グループの模範演技発表 ▣ シナリオの場面を皆に模範演技して実践できるように発表する	グループ ロールプレイ
1 6 : 0 0	9. 全体のまとめと講評 ☆各人は実施課題を自分自身に課し、4ヶ月後に実施報告書を提出する。上司はそれをチェックしてコメントして事務局に提出する。	
1 7 : 0 0		